

第 48 回（令和元年度）全国豆類経営改善共励会
受賞者（東海農政局管内）概要

農林水産大臣賞

<大豆 家族経営の部>

アグリード株式会社（岐阜県本巣市）

| 品種名 | 作付面積 (ha) | 単収 (kg/10a) | 労働時間 (hr/10a) | 農業経営費 (円/10a) | 上位等級比率 (%) |
|-------|--------------|----------------|------------------|------------------|---------------|
| フクユタカ | 11.6 | 213 | 4.85 | 41,465 | 95.8 |

アグリード株式会社は、平成 28 年から大豆生産を開始し、現在では水稲 - 小麦 - 大豆の 2 年 3 作体系による営農を行っている（水稲 88.1ha うち主食用 58.0ha・飼料用 24.0ha・その他 6.1ha、小麦 34.5ha、大豆 11.6ha）。

大豆をはじめとする水稲や小麦について、適期作業と気象動向に応じた的確な肥培管理により安定した収量と品質を実現しており、地域水田農業の模範となっている。また、農地中間管理機構を通じた農地集積を積極的に進め、地域の農地を守る農業法人として大きな役割を果たしている。

【生産技術改善への取組】

- 大豆栽培は、ほ場準備と、は種作業が重要との考えから、「は種半作」をキーワードに、輪作・排水対策・土づくりに尽力するとともに、は種時期に応じて栽植方法（慣行・狭畦）を選択することにより、令和元年度では岐阜県平均（108kg/10a）を大きく上回る単収を上げている。

【経営改善への取組】

- 作付の団地化やスマート農業機械・ICT 等の新技術の活用により、作業時間の短縮化を図っている。
- 農作業管理システム（KSAS）を導入し、作付計画や農作業技術、コスト管理を「見える化」することで、生産性向上や作業効率の改善を図り、経営の安定化に努めている。

【販売・消費拡大への取組】

- 加工適性に優れた「フクユタカ」の栽培や、定期的な実需者との意見交換を踏まえた栽培・乾燥調製を実施しており、実需者のニーズに沿った生産を行っている。
- 生産した大豆は、JA を通じて地元の加工業者に供給され、味噌や豆腐等に加工の上、学校給食への提供や JA の直売所で販売されており、地産地消の取組の一役を担っている。